

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～スティーブ・ジョブズって・・・知ってる？②～

「偉大な仕事は、一人ではなしえない。それはチームでなしえるものだ。」

そのことをビートルズから教わったスティーブ・ジョブズ。

「心の従うままに・・・」完成間近の iPhone はディスプレイを完成直前に変更しました！

時代はさかのぼり、1985年。スティーブ・ジョブズは、業績の悪化や経営手腕に問題があるところから、自ら創業したアップルを追放されます。

アップルから追い出されたジョブズは悔しさをバネに創設した会社で、大学向けに高性能コンピューターをつくるなど次々に製品を世に出します。ところが、そのすべてで大敗を喫しています。



「私は敗北者でシリコンバレーから逃げようとも考えました。

しかし、私はこの仕事が好きだったんです。アップルに拒まれても・・・

好きなものは好きなんです」

もって生まれた天才などいない。幾度もおそってくる挫折を、それでもはね返そうとする心が天才を産むのです。

ジョブズなきあとのアップルは業績が下がる一方でした。年間10億ドルの赤字となったとき、アップルの中でも、ジョブズを呼び戻そうとの機運が高まります。

そして、1997年1月、ついにジョブズはアップルに復活！

ジョブズが望んだ給料は……なんと……年棒1ドルでした。

年間約120円！円安やから140円？「うまい棒」10本分。今はドル高やから13本？どうでもいいか。

お金のためじゃない。……うまい棒のためでもない。

「世界を変えるために仕事をしているんだ！」というジョブズの意志です。

ジョブズは、スタンフォード大学のスピーチでこう語っています。



「私は17歳のときにこのような言葉と出会った。

『毎日を人生最後の一日だと思って生きていこう。そうすれば、いつの日か必ず何かを成し遂げる人物になれる』

それは強烈に印象に残った。その日を境に33年間、私は毎朝、鏡に映る自分に問いかけるのを日課にしてきた。「もし今日が最後の日だとしたら、今日やろうとしていることをするだろうか。」

と。それに対して「NO」という答えが長く続くようなら、何かを変える必要がある、生き方を見直せということです。」

もし今日が人生最後の日だとしたら、妥協するか？……………NO！

もし今日が人生最後の日だとしたら、手を抜くか？……………NO！

もし今日が人生最後の日だとしたら、うまい棒を食べるか？……………YES！

もし今日が人生最後の日だとしたら……………心に従わない理由などないでしょ！

iPhoneで音楽を聞いているときに、電話がかかってくると……………

普通なら、音楽が突然、ブチッと止まり電話に切り替わるところ。でも、iPhoneは違うんです。

音楽が静かにフェードアウトしていき、コール音が鳴るんです。こんなところにも、ジョブズの「心」を感じますね。

「もし今日が最後の日だとしたら……………」 時には、自分に問いかけてみては……………